

令和5年度 光貞幼稚園 自己評価結果の総括表

1. 【教育目標】 考える力を培い、体力作りに励み、優しさや思いやりの心を育てる。

2. 【本年度の重点目標】 ◎一人一人の思い、考え方、感性を引き出す保育の展開をする◎広い園庭を活かして元気な体と健やかな心を育む保育をする◎教職員の働き方と業務内容の見直しをする

3. 【評価項目の達成及び取り組み状況】

A：達成している B：一部達成している C：一部改善を要する D：改善を要する

重点的に取り組む目標	評価項目	評価指標及び評価結果					総括評価	コメント	
		基準	取組指標	取組結果	基準	成果指標			成果結果
一人一人の思い、考え方、感性を引き出す保育の展開をする	日々の振り返りの中で幼児の姿から発達を捉え、保育のねらいとの関連から自らの指導を評価した保育の改善	3	一人一人の幼児との関りを振り返り、その思いや変化に気付くようにする。	1.9	3	幼児は教師が準備したものに興味や関心を示し、活用しながらさらに遊びが発展するように環境の再構成をする。	2.5	B 2.2	・日々の振り返りの中で幼児が興味を持った素材を準備し環境を再構成して遊ぶ姿勢ほどの教職員も大切に考え実践できている。しかし、遊びを継続させる努力はしているが、遊び込む時間の確保が出来ないことが、今後の課題である。また、幼児が制作した物を基に、遊びへの発展や広がりが見られるよう、どのように工夫すべきかに課題がある。
		2	幼児が興味を持ったことに気付き遊びに取り入れる。		2	幼児は教師が提示したり環境として置いたものに興味を示し、触れたり使ったりするようになった。			
		1	色々な素材や技法を使った遊びをする。		1	幼児は教師が提示したり環境として置いたものを見たりして関心を示す。			
広い園庭を活かして元気な体と健やかな心を育む保育をする	幼児が豊かな自然体験の中で自己発揮して遊べるような環境構成の工夫	3	個々の発達段階、能力に応じた遊びのきっかけづくりをする。	1.9	3	好きな遊びを見つけて集中して遊ぶようになった。	2.3	B 2.1	・教師は畑の作物の収穫や園外保育で自然物と関わる活動を取り入れ、季節の自然を感じられる保育に取り組んできた。 ・フラフープ、ボール、竹馬、大縄等遊具を使用しての遊びや簡単なゲームをより多く取り入れてきたが、今後は他学年との交流時間の確保や、玩具を自由に使い、集中して遊べるような環境構成の工夫が必要である。
		2	自由遊びを充実させる。		2	季節ごとの園庭の自然環境や園外活動を見直し、指導計画の改善に生かす。			
		1	自然に触れながら季節の移り変わりを体感する。		1	自然に関わりある遊び等を保育に取り入れる。			

園内業務の効率化を図り、業務内容を共通理解する。	教職員の働き方と業務内容の見直し	3	教材研究を深める。	1.9	3	各教師が幼児の成長に合った教材を保育に活用するようになった。	1.9	B 1.9	・職員会議の効率化を図ったことで教材研究の時間を設けることが出来た。保育活動において幼児の実態や育ちを考慮しながら教材研究をしているが、今後は活動の目当て、援助の視点を変えながら、より幼児の成長に合ったものとなるよう、努力していきたい。特別支援が必要な幼児に対しては、専門機関と連携をとりながら、職員間の協力体制にも留意していく。
		2	年間行事ノートを作成し計画化分担化を図る		2	今年度は各行事のたたき台を作成した。			
		1	効率化を図る。		1	職員会議を効率的に行うようになった。			

【総合的な評価結果】

評価	理由
B2.1	今回の重点目標は、光貞幼稚園が今後においても大切にしていきたいと考えている目標であり、園長の思いが職員一人一人に浸透していることを実感できる評価となった。しかし、幼児が制作した物を基にした遊びがもっと発展できるような工夫や、遊び込める時間の確保が課題として挙げられた。又、今迄以上に他学年と関わる機会を増やし、協働する遊びや活動の中で、安心して自分の思っていることが言え、人の話も聞ける「しなやかさ」が育つよう、環境作りにも努力したい。尚、業務内容を見直し、効率化を図ると同時に、子どもの笑顔と職員の笑顔を守っていく必要があると考えた。

【次年度の重点課題】

- ◎健康で安全な生活ができるようになる。◎幼稚園内外における身近な集団生活に適応できるようになる。
- ◎身近な自然に興味や関心を持つようになる。◎自由な表現活動によって創造性を豊かにする。

5. 【学校関係者の評価】

コロナの規制解除後の幼稚園の取り組みにおいては、工夫や努力が見られる。自由遊びでは沢山遊んでいる姿を見ることが出来、嬉しく思う。バスの取り残し等の安全対策が徹底していることも安心出来る。一人一人の個性を重んじ、頑張る姿を認めてくれる幼稚園の取り組みを今後も続け、子どもの保育に力を注ぐことに期待します。